

授業科目	会計学原理 一貸借対照表項目を中心として一		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	山田 恵一		
実施日・時間	11月5日(土) 13:00~17:00		
	11月12日(土) 13:00~17:00		
	12月17日(土) 13:00~17:00		
	1月7日(土) 13:00~17:00		
	1月21日(土) 13:00~17:00		
	1月28日(土) 13:00~17:00		

【講義内容】

財務会計に関する理論について計算問題を通じて分かりやすく教えることを目的としています。教科書に書いていない理論的な部分は主に板書と板書ノートで対応します。授業中は学生に質問します。また、蛍光ペンで大事な箇所を色分けしながら授業を進めます（ピンク、緑、黄色、水色、オレンジ、茶色、紫の7色の蛍光ペンを毎回の授業に持ってきてください）。毎週、授業で習った範囲について問題集の問題をレポートとして課します。テキストの内容をほとんどすべて終わらせます。学習範囲が広いので、授業の進度は早いです。なお、具体的な内容は以下のとおりです。

- ・減損会計、引当金、資産除去債務、リース会計、退職給付会計、有価証券、外貨換算会計、貸借対照表総論、資産会計総論、現金預金、金銭債権と貸倒引当金、純資産会計、社債、有形固定資産、無形固定資産

【テキスト・教材】

- ・「日商簿記1級とおるテキスト商業簿記・会計学（II）改訂3版 貸借対照表編」著者名：桑原 知之、出版社：ネットスクール出版（毎回の授業で使います）
- ・「会計法規集(新版第3版)」中央経済社(毎回の授業に持ってきてください。授業中、時々参照します)
- ・「日商簿記1級とおるゼミ商業簿記・会計学（II）改訂3版 貸借対照表編」著者名：桑原 知之、出版社：ネットスクール出版（問題集です。レポートとして課します。授業に持ってくる必要はありません）

【事前学習】

この科目は、能力的に日商簿記検定2級を取得している学生を前提としています。まだ同2級を取得していない学生は、2級の全範囲を学習しておいてください。また、予習は必ず行ってください。具体的には、事前に教科書を読み、分からない部分をチェックするとともに、例題を解いておいてください。

【成績評価】

内容が非常に高度なので、期末試験では、レポートと同じ問題を網羅的に出題します。1時間半で終わらない量を出題する可能性もありますので、出題量と難易度に応じて、満点が100点~150点前後となる試験を実施します。得点が80点以上は、評価Aとし、70点以上80点未満は評価Bとし、60点以上70点未満は評価Cとします。60点未満には単位を与えません。欠席が全体の1/3以上、すなわち2回以上の（これは、授業は2回まで休んで良いということでは決してありません）学生には単位を認定しません。レポートは、最高15点として試験の得点に加算します。再試験は実施しません。出席点はありません。

【履修上の注意・メッセージ】

第1回目の授業に、テキストと会計法規集を自分で準備して必ず持ってきてください。授業は全出席が大前提であり、特に会計学の場合、一度でも休むと、その後の授業が全く分からなくなるということが多いため、絶対に休まないようにしてください。

始業時に教室に居なければ欠席扱いとなります（どうしても避けられない理由があった場合には、その旨申し出てください。電車が遅れて遅刻した場合には、遅延証明書を提出してください）。レポートは、授業の最初に集め、その時点で提出しなければ一切受け取りません。レポートには表紙を必ず付けてホチキスで留めてください。表紙には、科目名、提出日時、レポート範囲、学籍番号、氏名を明記してください。私語、携帯電話の使用、居眠り、あくびは一切許しません。